

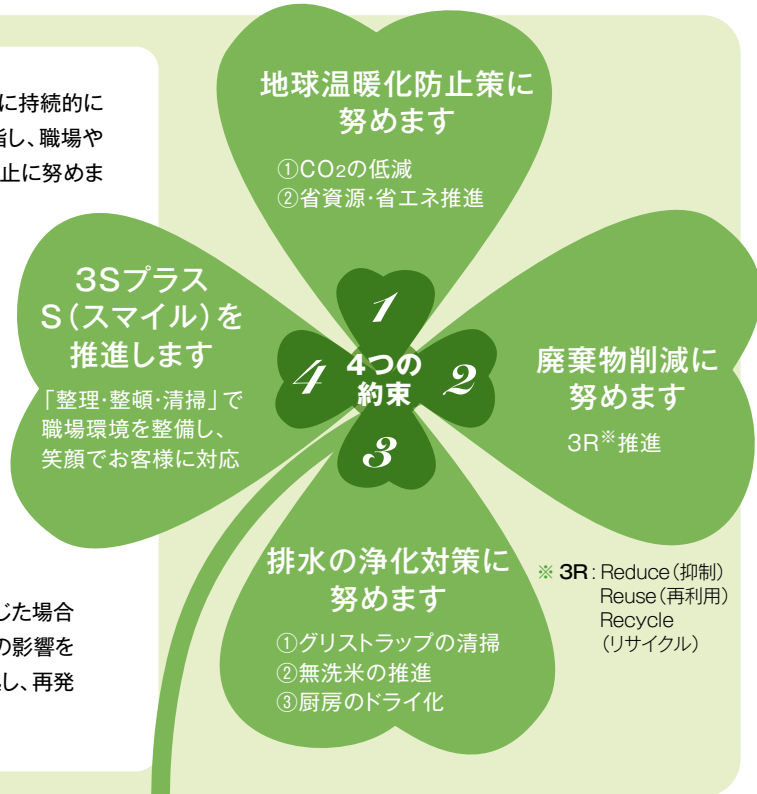


いつまでも美しい地球であるために 一人ひとりができることを

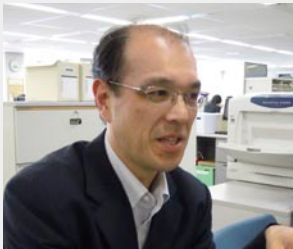
浪費を戒め、大切な資源を節約し再利用する、環境保全活動に積極的に取り組み、私たち一人ひとりが、地球環境にとっての「プラスワン」を考え、実践します。

環境方針

- 省資源・省エネルギーやリサイクルに持続的に取り組み、循環型社会の実現を目指し、職場や事業活動等における環境汚染の防止に努めます。具体的には「4つの約束」として右記に対し取り組んでいきます。
- グリーンハウスグループおよびグループ各社で取り組む環境目標を設定し、継続的な改善に努めます。
- 社内教育や啓蒙活動を通じて、環境保全に関する意識の向上を図ります。
- 事業活動等において環境問題が生じた場合には、直ちにその解決にあたり、その影響を最小限にとどめるよう速やかに対処し、再発防止の改善を図ります。



VOICE “できること”から“さらなるリサイクル”へ



グリーン・フードマネジメントシステムズ
営業推進本部 環境担当
廣瀬 潤一

“できること”から始めた環境活動も今では定着してきており、生ゴミ発生抑制の取り組みなど成果として表れてきました。これから注力する部分は、“さらなるリサイクル化”です。まずは生ゴミ発生総量の20%のリサイクル化の達成を目指すべく、各種取り組みを進めています。今後も、従業員一人ひとりが環境への取り組みを理解し、地球に優しく、快適な社会づくりを目指す企業として、顧客や社会の要請に応えられるよう努めていきたいと考えています。

地球温暖化防止

CO₂排出削減 【営業所での取り組み】

全国の営業所では、さまざまな省エネ対応でCO₂排出削減に取り組んでいます。

- 冷蔵庫、冷凍庫の開閉回数の減少(計画的な使用)やフィルターのコまめな清掃
- 冷蔵ショーケースの稼働時間の制限
- 使用する冷凍庫を1カ所に集約
- ガス使用機器を必要最低限の時間に着火



営業時間外は商品を1カ所に集め、電力消費を抑えます



茹で麺機

- 電力デマンド監視モニター^{※1}を設置して使用電力量の把握・管理

※1 電力デマンド監視モニター：使用電力量と電力需要のピークなどを計測する機器



月々の使用電力量を管理しています

省エネの推進 【本社での取り組み】

東京オペラシティの本社オフィスでは、電力削減のために、不要箇所の蛍光灯の間引き、昼休みの消灯、パソコン画面の省電力設定の実施、クールビズの実施、こまめな室温管理などの省エネを推進し、CO₂の排出抑制を行っています。



蛍光灯間引き

廃棄物削減

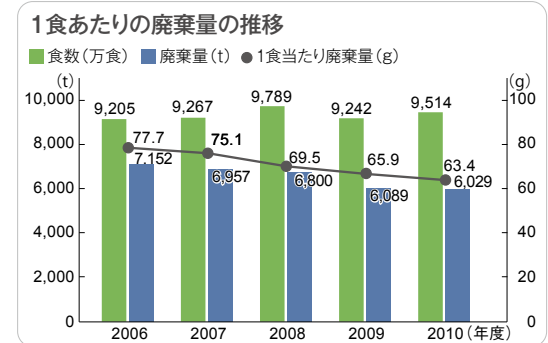
出さない工夫 【抑制からリサイクルへ】

廃棄物の発生抑制に対し、生ゴミ排出量の計量・記録の実践やカット野菜の導入、徹底した食数管理によるロス管理のほか、食事の提供時に食べられるだけのごはんを盛るなど、お客様と共に生ゴミの減量に積極的に取り組んだ結果、1食当たりの生ゴミ廃棄量^{※2}は、2003年3月の基準値105.1gに対し、10年度は63.4gになりました。また、最近ではリサイクルも推進しており、10年度の生ゴミ発生総量

に対するリサイクル率は18.6%になっており、飼料や肥料、メタン化^{※3}へとリサイクルされています。

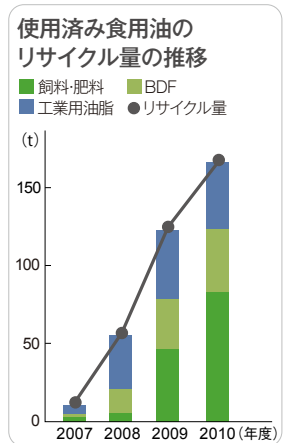
※2 1食当たりの生ゴミ処理量：生ゴミ処分量/総客数

※3 メタン化：生ゴミを処理する過程で発生するメタンガスを燃料として、発電を行うこと



リサイクル 【廃油リサイクル】

2007年から開始した廃油リサイクルは、11年3月末で165tのリサイクル量となりました。廃油は、産業廃棄物の収集運搬会社が回収し、リサイクル工場で飼料用添加剤、塗料、バイオディーゼル燃料(BDF)、石けんなどに再生されています。



社内の制度・取り組み

■ 無洗米の推進

従来の米をとぐ場合の水道使用量は、米の重量の約10倍以上を必要とし、大量の汚水が発生していました。当社では、無洗米の導入を積極的に推進しており、汚水による環境負荷の低減を図っています。

■ 3SプラスS推進

3SプラスSの推進は、3S(整理・整頓・清掃)で営業所の環境を整え、Smile(笑顔)でお客様をお迎えするという快適環境の実現に向けた活動です。この活動はCSアンケートにて評価され、改善活動につながっています。

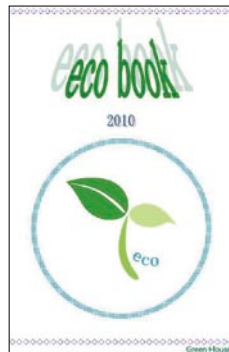
社内啓蒙活動

■ 「eco book」「エコタウン」

グリーンハウスグループでは、環境啓蒙活動の一環として、環境に対する基本的な知識を養うための小冊子「eco book」を全店に配布しているほか、環境に関するタイムリーな情報やトレンドの共有のため、毎月「エコタウン」を社内メールで配信しています。



エコタウン



eco book

■ 環境委員会の開催

環境保全活動の進捗状況や課題などを広く共有する機会として、グループ各社から選出された全国の代表が集まり、「グリーンハウスグループ全国環境会議」を定期的に開催しています。ここでは、それぞれの課題などに対し、活発な意見交換や情報共有が行われています。



グリーンハウスグループ全国環境会議

■ ペットボトルキャップで世界の子どもたちにワクチンを

「リサイクル」の取り組みとして2008年から始めたペットボトルキャップの回収は、11年3月末までに累計約2,690,000個、約6,457人分のポリオワクチンとなりました。回収したキャップは、NPO法人「Reライフスタイル」を通じて、世界の子どもたちにワクチンが届けられています。



ペットボトルキャップ

■ eco検定

東京商工会議所主催の「eco検定(環境社会検定)」の取得を環境委員を中心に進めており、毎年多くの合格者「エコピープル」が誕生しています。このeco検定を通して、幅広い環境問題に対し、基本的な知識の習得や環境への意識向上、自己啓発に役立てられています。



2011年3月末までに30人が検定に合格しました

ホテルマネジメント事業での取り組み

ホテル経営を行うグループ会社グリーンホスピタリティーマネジメントでは、2010年10月より現在運営している10施設において、ホテル生まれの環境・社会活動「エコ&スマイル」と題し、以下の取り組みを積極的に推進しています。

- 1 エコ清掃※の導入
- 2 ペットボトルキャップ・使用済み切手の回収
- 3 レストランでのエコ箸の使用
- 4 シャンプー、リンス、ソープ類のディスペンサー化
- 5 アルミ缶・廃油のリサイクルや廃油のろ過再利用
- 6 施設ごとに地域の社会貢献活動を自主的に実施



ドアノブカード



「エコ&スマイル」ポスター
各施設のロビー周辺に掲示しています。

今後も、ホテルオーナー様やお客様とともに、「エコ&スマイル」活動に取り組んでいきます。

※ エコ清掃：ドアノブカードを掛けたゲストの客室は、ベッドシーツ、枕カバー、浴衣パジャマ、未使用のタオル類を交換せずに清掃

